

松陰高等学校（通信制）評価表

学校	・生徒の個性を重視した寺子屋に学び、個に応じた指導を通して学力をつけ、生徒に自信をもたせる。			
教育	・様々な校外活動に参加し、人との関わりを深め、共に生きることの喜びを体感し、社会の中での自分の役割を認識させる。			
目標	・進路学習や総合学習を通じて自己の能力・興味・関心を見つめさせ、生徒の進路実現を図る。			
教育目標	重点項目	重点目標	評価	現状と次年度への主な課題
<p>本校は、山口県岩国市の中山間地域の向峠地区にある。自然に恵まれた環境のもと、地域住民との交流や、伝統文化への理解を深める。さらに、地域活動への参加を積極的に進める。こうした活動を通して、生徒が社会で自立し、生きる力を身につけられるようにする。</p> <p>また、生徒一人ひとりと向き合い、個の能力に応じた指導の充実を図り生徒の進路実現を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人ひとりの継続的な学習の習慣化と学力の向上</li> </ul>	・スクーリング・レポート作成・テストへの指導の充実と教科内容の理解	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの能力や適性が異なる中で、生徒とどう向き合っていくかを常に考えた指導体制の充実。</li> <li>・「学習の手引き」を有効に活用することで、学習活動の充実を図る。</li> <li>・生徒の学習の習慣化に努める。</li> <li>・学力の向上を図り、進路実現につなげる。</li> <li>・生徒が自信をもって学校生活を送れるような体制づくりの構築。</li> </ul>
		・学習状況の定期的確認と生徒・保護者への連絡		
		・「学習の手引き」の有効な活用		
		・個別面談の充実と進路実現へのサポート		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・望ましい職業観の育成</li> </ul>	・一人ひとりへのきめ細やかな進路指導の充実	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路行事の充実を図り、生徒が自らの生き方を考える機会を与える。</li> <li>・会社訪問、上級学校のオープンキャンパス参加等を積極的に呼びかけ、進路の方向性を探る機会を与える。</li> <li>・早い段階から進路への意識を持たせ、社会で自立できるような進路選択を考える機会を創出する。</li> </ul>
		・進路ガイダンス・個別面談の質の向上		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣と規範意識の確立</li> <li>・学校生活の安全と安心</li> </ul>	・社会性と公共心の育成、規範意識の高揚	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが場をわきまえた行動がとれるよう、日々の生活を通しての意識付けを図る。</li> <li>・ネットやメール等に関する道徳規範の意識付けの徹底。</li> <li>・道徳規範意識を通して、社会性を身に付けさせる。</li> </ul>
		・教職員の共通理解による生徒指導体制の充実		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健全な心身の育成</li> </ul>	・心のケアを通して学校生活を援助する体制づくり	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーの配置や、教育相談を行う環境整備のさらなる充実。</li> <li>・学校・生徒・家庭の連携を深め、生徒が安心して通える学校づくり。</li> </ul>
		・教育相談体制の充実		
		・校外学習や宿泊学習を通して心身の充実や道徳教育の充実		
		・ボランティア活動を通しての奉仕精神の育成		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者及び家庭との連携</li> </ul>	・不登校、転編入生など多様な生徒への指導	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に寄り添える指導体制と、教育環境の整備。</li> <li>・学校と家庭との連携を深めることで、生徒が安心して日々を過ごせる環境づくり。</li> </ul>	
	・生徒に関する諸問題の解決を図るための家庭との連携強化			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外活動への積極的な参加</li> </ul>	・自然や地域との触れ合いを図るための企画内容の検討	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外活動に参加することによる、友人関係のさらなる構築。</li> <li>・有効、効果的な校外学習の実践。</li> <li>・ボランティア活動を通しての地域とのつながりの強化。</li> <li>・社会参加を通して、自分の役割を再認識する機会を与える。</li> <li>・教室とは違う形の授業を通して、学ぶことの喜びを感じさせる契機づくり。</li> </ul>	
	・特別活動への参加奨励			
	・ボランティア活動への積極的な参加奨励			

※評価基準： A:十分達成できている B:達成できている C:概ね達成できている D:不十分である E:達成できていない

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	現状を踏まえての次年度への主な課題
教 務	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人ひとりが各々の目標を達成できるよう、教職員が教育活動に取り組む。</li> <li>基礎学力を定着させ、単位修得に向けての学習の支援を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学習の手引き」の構成等を検討し、正確で分かり易い内容にする。</li> <li>時間割・校外学習等を工夫し、生徒が積極的に参加できるようにする。</li> <li>生徒の学習状況をきちんと把握し、個々に応じた指導を行う。</li> <li>基礎学力の定着を図るための家庭学習の習慣化を図る。</li> <li>生徒の能力・進路に応じた科目が履修できるような履修科目の設定を考える。</li> <li>教育活動を支援するための教育環境づくりの構築を図る。</li> <li>家庭への定期的な連絡を通して、生徒の学習状況の把握に努める。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校で作成した「学習の手引き」を通して、高校生としての意識づけを行う。</li> <li>教育機器のタブレット導入によるレポート学習の利便性と効率化。</li> <li>さらに、生徒の学力向上や知的関心を高める教材としての、教育内容のさらなる充実。</li> <li>選挙権年齢の引き下げに伴う教職員の共通理解。</li> <li>家庭との連携を密にすることで、生徒が安心できる教育体制の充実を図る。</li> <li>本校と各学習センター教員の教科指導の共通理解。</li> </ul>
進 路	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の進路実現のため、個に応じた学習計画を立て、前向きな姿勢で学習に取り組めるようにする。</li> <li>進路における情報収集を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の興味・関心に気付かせ、それを踏まえて進路の方向性を考えていくようにする。</li> <li>保護者との連携を深め生徒の進路に関して三者が共有できる環境を整える。</li> <li>進路行事を提供し、自己の進路を考える機会を与える。</li> <li>学年に応じて段階的な進路指導の徹底を図る。</li> <li>個々の生徒の進路相談を充実させるため、進路関係の情報収集、提供に努める。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路への意識高揚と、学習に取り組む雰囲気作り。</li> <li>生徒一人一人にきちんと向き合い、彼らの適性、能力を考えた進路実現。</li> <li>生徒の進路に関する職員間の情報共有。</li> <li>進路意識を高めるための進路講話などの計画。</li> <li>国公立大学や私立大学などへのさらなる進路実績。</li> <li>早い段階でのオープンキャンパス等の参加を促すことによる進路意識の喚起。</li> <li>必要な進路情報の入手と共有化。</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習する環境を整える。</li> <li>公共マナーの向上と社会的規範の遵守を図る。</li> <li>思いやりのある心の育成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場をわきまえた行動がとれるような指導の充実を図ると同時に、自分の行動に責任が持てるような人間形成を目指す。</li> <li>スクーリング、講演、面談などを通して薬物の危険性、有害情報の提供、交通ルールや禁煙などを指導していく。</li> <li>人の心の痛みが分かり、思いやりを持った行動がとれるようにする。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>マナーの向上や公共心、道徳心の育成。</li> <li>高校生らしい服装やみだしなみの指導。</li> <li>タイミングを捉えた、生徒への指導のアプローチ。</li> <li>学校としての学習する環境、雰囲気作り。</li> <li>思いやりの心の涵養。</li> </ul>
いじめ対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ対策防止基本方針の策定をし、学校の基本方針を明確にする。</li> <li>教職員間の情報交換を密にし、いじめを未然に防ぐ環境づくりに努める。</li> <li>ネットにおける生徒の動向に注意を払い、情報モラルの指導を行う。</li> <li>外部機関との連携体制。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒同士が、お互いの良さを認める雰囲気を醸成する。</li> <li>生徒との信頼関係を深め、生徒の心に寄り添った対応をする。</li> <li>教職員の情報交換を密にし、生徒理解に努める。</li> <li>家庭との連絡を密にし、いじめを未然に防ぐ対応をする。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>安易な書き込み、メール等への注意喚起。</li> <li>ネット依存の危険性と情報モラルの構築。</li> <li>相手を傷つける不用意な言葉、いじめの根絶。</li> </ul>
安 全 健 康 管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>心身の健康と自己管理能力の育成を図る。</li> <li>教育相談の有効活用を図り、生徒の悩みに対応できる体制づくりを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクーリングや個別面談により生徒の健康維持・安全衛生面についての意識を高める。</li> <li>基本的な生活習慣の確立を目指し、自己管理能力を高める。</li> <li>不登校傾向にある生徒に対しては、家庭訪問を行いながらお互いの信頼関係を深める。</li> <li>地域関係機関との連携を含めた不審者や緊急事態への対応の機能の充実を図る。</li> <li>地域との連携を深め、生徒理解に努めることで、生徒を取り巻く環境の改善を図る。</li> <li>生徒の健全育成に努め、社会のルールを守る指導を行う。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>登校が難しい生徒への細やかな対応。</li> <li>基本的な生活習慣の確立。</li> <li>生徒の健康管理と各学習センターの共有化。</li> <li>災害時、不審者対応など危機管理に関する意識の徹底。</li> <li>地域との連携による安全対策。</li> </ul>
生徒募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒募集のための広報に努める。</li> <li>地域との連携により、本校教育目標への理解に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校案内パンフレット内容の工夫・充実を行う。</li> <li>地域・他校との連携を深め、生徒募集の効果的な広報を工夫する。また関係する学校・機関の訪問を積極的に行い、生徒の理解に努める。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページのさらなる充実</li> <li>本校と学習センターとの教育目標等の共通理解</li> <li>地元の各学校との信頼関係の構築。</li> <li>学校案内のパンフレットの内容の充実・精選。</li> <li>学校、学習センターの特徴を生かした生徒募集。</li> </ul>

※評価基準： A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：達成できていない

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	現状を踏まえての次年度への主な課題
教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の生徒の個性や能力に応じた教科指導の実践</li> <li>教科の特性を生かした指導</li> <li>担当教科との連携による生徒の指導と把握</li> </ul>	・指導内容を振り返り、次のスクーリングに活かす。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習習慣の確立を目指す。</li> <li>継続的学習の意識づけとさらなる支援。</li> <li>生徒の現状把握と家庭との連携。</li> <li>生徒の学力に応じての細かい指導とその体制づくり。</li> <li>スクーリング、レポートの実施状況の把握と、生徒が計画的に学習をしていける支援。</li> <li>レポート指導や教科指導を行うことで、学力の定着を図る。</li> <li>生徒の関心を引き付ける教員の教材研究。</li> <li>生徒への言葉かけ、心配り。</li> <li>正誤だけの添削ではなく、正解へと導く添削指導内容の徹底。</li> </ul>
		・基礎学力の定着をはかり、生徒ができることの喜びを感じさせる。		
		・生徒一人ひとりの能力・実体に合わせた教材の提供を行う。		
		・基本的生活習慣を身に着けさせ、計画的に学習させる。		
		・レポート指導や添削で生徒への理解を促す。		
		・生徒の個性や能力に応じた教科指導の実践を通し、進路実現を図る。		
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的生活習慣の確立と学習活動の定着化</li> <li>学習環境作りの推進</li> <li>多様な生徒への配慮</li> </ul>	・自己の進路目標を設定し、自分に向き合う姿勢を育成する。その中で自信を持たせるような指導を目指す。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒と生徒を取り巻く環境の情報の共有化。</li> <li>高校生としての意識づくりと新しい環境に慣れるための雰囲気作り。</li> <li>学校行事への参加と新たな友人をつくる環境作り。</li> <li>丁寧な指導による苦手科目の克服。</li> <li>社会で自立できるための基本的生活習慣の確立。</li> <li>個々の生徒に対する教育的配慮と指導。</li> <li>家庭との連携による生徒理解。</li> <li>コミュニケーションによる生徒、教員の意味疎通。</li> </ul>
		・通信制のシステムの中で、個別指導をきめ細かく行う。		
		・場をわきまえた行動がとれるような学習環境。		
		・体験学習や学校行事への積極的な参加を促す。		
		・各生徒の状況を把握し、適切に対処できるように心がける。		
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の習慣化と学力の向上</li> <li>進路意識の向上</li> <li>学校行事への積極的参加</li> </ul>	・個別指導を通して生徒の自覚を促し、スクーリング・出席率・レポートの提出率の向上を目指し、学力の向上を図る。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の中心的存在としての意識づけ</li> <li>個別面談の徹底</li> <li>進路に関する行事やイベントを計画することによる進路指導の充実。</li> <li>計画的な家庭学習の定着。</li> <li>個々に応じた進路情報の提供。</li> <li>次年度に向けた学力の定着や進路の意識づけ。</li> </ul>
		・悩みを抱えている生徒の情報把握・生徒理解に努め、適切な対応を心がける。		
		・進路の情報収集に努め、進路目標を持たせる。		
		・学校行事への参加を呼びかけ、友人との交流を図る。		
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>単位取得の徹底と卒業への意識づけ</li> <li>進路希望の実現</li> <li>スクーリングや校外学習への積極的な参加による充実した学校生活</li> <li>学習意欲の持続と学力の向上</li> <li>進路指導の充実</li> </ul>	・スクーリングや面談を通じて学習習慣の重要性を認識し、卒業への意欲を喚起する。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々に応じた適切な進路情報の提供</li> <li>進路実現に向けての生徒の意識向上。</li> <li>個別面談の徹底</li> <li>小論文や面接の指導の充実。</li> <li>生徒、保護者、学校との連携による進路実現。</li> <li>進路実現を果たすための学力向上と、それへの細やかな指導。</li> <li>各学習センターとの密な連携。</li> <li>進路開拓の必要性(大学・専門学校・企業)</li> <li>卒業に対する意識付けと自立への後押し。</li> </ul>
		・将来に向けての動機づけを行い、進路に対する意識を向上させる。		
		・経験から学ぶ体験学習をはじめとした学校行事への参加を呼びかけ、地域と学校との一体感を味わわせる環境づくりに努める。		
		・個別面談あるいは個人学習状況表の確認などで、生徒のレポート提出やスクーリングの参加状況を把握し、生徒の進路実現を目指す。		
		・常勤・非常勤教員と連携し、生徒一人ひとりに応じた適切な学習・進路指導に努める。		

※評価基準： A:十分達成できている B:達成できている C:概ね達成できている D:不十分である E:達成できていない